

2024年2月8日

各位

上場会社名 東亜建設工業株式会社
 代表者 代表取締役社長 早川 毅
 (コード番号 1885 東証プライム・札証)
 問合せ先責任者 管理本部総務部長 木村 徹也
 (TEL 03-6757-3821)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2023年11月10日に公表した業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 2024年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	260,000	12,200	11,700	7,400	356.15
今回修正予想(B)	270,000	15,900	15,100	9,600	466.38
増減額(B-A)	10,000	3,700	3,400	2,200	
増減率(%)	3.8	30.3	29.1	29.7	
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	213,569	6,555	6,614	4,835	224.55

(2) 2024年3月期通期個別業績予想数値の修正 (2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	250,000	10,500	10,700	7,200	346.52
今回修正予想(B)	260,000	13,700	13,600	9,200	446.95
増減額(B-A)	10,000	3,200	2,900	2,000	
増減率(%)	4.0	30.5	27.1	27.8	
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	203,236	5,772	5,857	4,424	205.49

2. 修正の理由

(1) 個別業績予想

売上高につきましては、国内土木事業・国内建築事業ともに受注高の増加による豊富な手持工事が順調に進捗し、前回発表予想より 100 億円増加する見込みです。利益面につきましては、国内土木事業におきまして、売上高の増加や設計変更獲得に伴う利益回復等により利益の増加を見込んでおります。また、海外事業におきましては、大型工事の利益率が改善したことにより利益の増加を見込んでおります。これらを主因に、営業利益が前回発表予想より 32 億円の増加、経常利益は 29 億円の増加、当期純利益は 20 億円の増加となる見込みです。

(2) 連結業績予想

主に個別業績予想の修正に伴い、前回発表予想を上回る見込みです。

(ご参考) 2024 年 3 月期個別受注予想数値の修正

	個別受注高
	百万円
前回発表予想 (A)	280,000
今回修正予想 (B)	320,000
増減額 (B - A)	40,000
増減率 (%)	14.3
(ご参考) 前期実績 (2023 年 3 月期)	295,496

受注高につきましては、国内土木事業において大型プロジェクト案件を受注及び海外事業において、アフリカで大型港湾工事を獲得したことにより、前回の見通しを上回る見込みです。

3. 配当予想の修正

(1) 修正の内容

	年間配当金	
	期末	合計
前回発表予想 (2023 年 11 月 10 日発表)	円 銭 110.00	円 銭 110.00
今回修正予想	150.00	150.00
前期実績 (2023 年 3 月期)	90.00	90.00

(2) 修正の理由

当社の配当金につきましては、2023 年度から 2025 年度までの中期経営計画におきまして、株主還元の指標として配当性向 30%以上を目標とするとともに、引き続き安定的かつ充実した利益配分を基本方針としております。

また、2023 年 5 月 12 日付「「PBR 向上に向けたアクションプラン」の策定について」にてお知らせのとおり、1 株当たりの価値及び PBR が向上した場合、上記中期経営計画期間中である 2024 年度・2025 年度の配当性向を 40%以上に見直すことで、安定的な株主還元を一層充実させていくことを目標として掲げております。

上記の方針を踏まえ、2024年3月期の期末配当予想につきましては、1株当たり110円を予想しておりましたが、今期の業績見通し及び財政状態等を総合的に勘案し、前回予想から40円増配し150円に修正いたしました。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

上記の予想数値は、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因によって業績予想値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上